

第 24 回 生命科学シンポジウム開催報告

令和 7 年 6 月 20 日（金）、21 日（土）に、浅野キャンパス 武田ホールにおいて、第 24 回東京大学生命科学シンポジウムが開催されました。

今回も講演会、若手ワークショップ、ポスター発表を対面形式で実施し、2 日間で合計 33 名の若手研究者による口頭発表(若手ワークショップ: 1 名欠席)、224 題のポスター発表、2 名の先生方による最先端の研究成果のご講演、そして懇談会が行われました。

また、20 日(金)夕刻には、第 20 回から継続している「高校生と大学生のための金曜特別講座」とのコラボレーション企画として、中西真教授(医科学研究所)による講演「老化を科学する」がオンライン配信にて実施されました。



金曜特別講座 講師 中西 真 教授

本シンポジウムは、東京大学の学生を含む生命科学に関わる研究者同士の交流の場であると同時に、一般の方々にも東京大学で行われている研究の成果を広く発信し、生命科学への理解と関心を深めていただくことを目的とした啓発活動でもあります。今回のシンポジウムには、学内外の学生・研究者・一般の方をあわせて約 500 名の参加があり、盛況のうちに終了いたしました。また、12 の企業・団体から広告協賛をいただきました。



会場の様子

若手ワークショップには最終的に 33 名の応募があり、ご応募いただいた全ての若手研究者にご発表いただきました。お一人あたりの持ち時間は 7 分と限られていましたが、いずれの発表も高い水準で、活発な質疑応答が行われました。

ポスター発表は、武田先端知ビル 5 階のホワイエおよび大階段室を会場とし、コンパクトながらも効率的な構成で実施しました。会場内では終始活発な議論が展開され、研究交流の場として非常に有意義な時間となりました。ただし、大階段室においては冷房設備が十分でなく、発表者の皆様にはご不便をおかけしましたこととお詫び申し上げます。



ポスター会場の様子

また、前回に引き続き企業ポスターコーナーも設置され、就職活動中の学生や受託解析に関心のある研究者等、多くの参加者の関心を集め、好評を博しました。

来年度も引き続き第 25 回東京大学生命科学シンポジウムを開催する予定ですので、みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

最後に、広告協賛いただいた企業・団体の方々、ご講演いただいた講演者の先生方、座長の先生方、ポスター審査員の先生方、シンポジウムの開催にご協力いただいたスタッフ、学生スタッフの皆さまに、心より感謝申し上げます。



実行委員長 榎本 和生 教授



実行副委員長 稲田 利文 教授



ネットワーク長 伊藤 耕一 教授

若手ワークショップ: 6月20日(金) 13:05 ~ 15:05、21日(土) 10:00 ~ 12:00

A fungal transcription factor governs lifestyle transition along the mutualist-pathogen continuum
氏松 蓮 (総合文化研究科)

Phylogeny and Functional Divergence of Proteorhodopsins: Evolutionary Strategies for Phototrophy in Marine Archaea
洪 芝蘭 (大気海洋研究所)

Mechanistic insights into ribosome subunit abundance regulation in response to translation failure and cellular stress
Landis Alexander (医科学研究所)

Structure of the OMEGA nickase IsrB in complex with ω RNA and target DNA
平野 清一 (定量生命科学研究所)

代謝シグナルによる幹細胞制御解明とその疾患への応用
磯谷 亮輔 (医学系研究科)

Functional analysis of the type III CBASS antiphage defense mechanism

抗ファージ防御機構Ⅲ型 CBASS の活性化メカニズムの解明

中町 天音 (工学系研究科)

ゲノムワイド関連解析と RNA-seq データの統合による牛伝染性リンパ腫発症に關与する遺伝要因の探索

綿貫 園子 (農学生命科学研究科)

Light-controlled endonuclease for meiotic recombination

人工的な減数分裂組換えを誘導する光活性型制限酵素の開発

米 秀之 (総合文化研究科)

培養筋アクチュエータの筋肥大誘導手法の開発

野田 笙太 (情報理工学系研究科)

High-Resolution Integrative Spatial Transcriptomics Maps the Cellular Labyrinth of Bone

空間トランスクリプトームで魅せる骨のラビリンス

岡田 寛之 (医学系研究科)

Establishment of a novel Shark Immunization and Characterization of IgNAR antibody

新規サメ免疫の確立と IgNAR 抗体の特性評価

新田 有紀 (新領域創成科学研究科)

Mapping the Immune Landscape: Spatial Dynamics of TLS and Cell States in Cancer

がんにおける TLS と細胞状態の空間的相関解析

Yan Ange (新領域創成科学研究科)

Myeloid heterogeneity in bone metastatic microenvironment

骨転移微小環境におけるミエロイド細胞多様性の解析

橋本 恭子 (医学系研究科)

Identification of FSH-RH Neurons and Their Potential Regulation by Physiological States in Medaka

メダカを用いた卵黄形成に最も重要な視床下部ホルモン(FSH-RH)の同定と、その放出調節機構の解析

上原 峻ケニー (大気海洋研究所)

Isoflurane targets the type 1 ryanodine receptor

イソフルランによる1型リアノジン受容体の活性化機構と全身麻酔導入への関与

金谷 啓之 (医学系研究科)

Machine-learning Assisted Thin-film-transistor Microelectrode Arrays (TFT-MEA) for Multimodal Characterization of Cardiomyocytes

心筋細胞のマルチモーダル評価のための機械学習支援薄膜トランジスタ微小電極アレイ(TFT-MEA)

HU Xingzhuo (工学系研究科)

Crucial roles of Grr1 in splicing and translation of HAC1 mRNA upon unfolded stress response

出芽酵母での小胞体ストレス応答において、分解酵素 Grr1 はストレス因子 HAC1 の効率的な翻訳に寄与する

佐藤 二千翔 (医科学研究所)

Analysis of novel immunostimulatory function of DHNA, a compound from *Propionibacterium freudenreichii*

プロピオン酸菌由来低分子化合物 DHNA の新規免疫賦活化機能解析

堀内 菜々子 (農学生命科学研究科)

Physiological roles of tRNA queuosine glycosylation in mammals

扇澤 温也 (工学系研究科)

History-dependent survival and adaptation to glucose starvation in fission yeast

北岸 健吾 (総合文化研究科)

Validation of One-Dimensional Blood Flow Simulation Using Live Imaging of Zebrafish Brain Vasculature

喬 洋 (生産技術研究所)

肺線維症治療に向けた LPA1 抗体のアロステリック阻害機構の解明

金田 翔太 (理学系研究科)

Exploration of raw milk fractions associated with lipid accumulation in cultured adipocytes for cultured fat development

櫻山 裕之 (生産技術研究所)

Elucidating the Role of Intracellular Ultrasturcture in Synaptic Transmission in the Mouse Cortical Axons

マウス大脳皮質軸索での神経伝達における細胞内超微細構造の役割の解明

柴山 光耀 (工学系研究科)

Automated Dendritic Arbor Pattern Analysis Reveals Calmodulin and Myosin VI as Regulators Linking Neuronal Identity to Morphology

木村 南陽 (薬学系研究科)

代謝機能障害関連脂肪背肝炎 (MASH) に続発する骨異栄養症の発症機序の解明

岡本 雄揮 (農学生命科学研究科)

Analysis of Vascular Invading Cancer Cell Clusters by Tumor-microvessel-on-a-chip

Tumor-microvessel on-a-chip による がん細胞クラスターの血管侵入現象の解析

近藤 誠 (生産技術研究所)

Large-scale generation of uniform-sized miniature adipocyte spheroids in hydrogel capsules

前川 瑠里 (先端科学技術研究センター)

Functional analysis of α -ketoglutarate-dependent L-methionine oxygenase

メチオニンの酸化を触媒する α -ケトグルタル酸依存性酸化酵素の機能解析

周 律 (薬学系研究科)

L-Fucose Derived from Brown Algae Regulates Macrophage Inflammatory Responses

褐藻由来単糖 L-フコースによるマクロファージの炎症応答制御

中村 友哉 (農学生命科学研究科)

リゾホスファチジルコリンの分布様式による生理活性の相違

FAN CHENYU (医学系研究科)

Elucidation of the Role of Sp7 Phase Separation and Super Enhancers in Osteogenesis

Christiany Priscillia (医学系研究科)

細胞内粘性による神経幹細胞の静止状態の確立

中田 絢菜 (薬学系研究科)

ポスターセッション: 6月20日(金) 11:30 ~ 15:00

- 224 演題 (学生・研究員・教員)

- 企業ポスター 5社の出展

アクティブ・モティフ株式会社

アステラス製薬 株式会社

カールツァイス 株式会社

先端モデル動物支援プラットフォーム

中外製薬 株式会社

講演: 6月21日(土) 15:15 ~ 16:15

坪山 幸太郎 講師

(生産技術研究所)

「人工タンパク質の合理設計への挑戦」



井口 高志 准教授

(人文社会系研究科)

「認知症と社会：医療社会学の視点から」



ポスター賞受賞者 (20名)

ポスター賞は、214 演題 (学生・研究員)の中から 20名の方が選ばれました。

受賞者	所属
鈴木 仁子	農学生命科学研究科
高木 祐吾	薬学系研究科

佐藤 二千翔	医科学研究所
濱島 充長	理学系研究科
橋本 創太	薬学系研究科
塩井 琢郎	定量生命科学研究所
児山 佳菜	工学系研究科
米 秀之	総合文化研究科
小林 拓真	工学系研究科
野田 笙太	情報理工学系研究科
西角 駿	薬学系研究科
田中 志和	薬学系研究科
北 和馬	医学系研究科
中村 優花	薬学系研究科
追木 宏宣	農学生命科学研究科
関根 由佳	理学系研究科
市川 紗希	薬学系研究科
安蒜 サマディ有矢	薬学系研究科
福田 瑞希	理学系研究科
中田 絢菜	薬学系研究科



表彰状の様子

主催

東京大学生命科学ネットワーク

共催

東京大学

東京大学生命科学技術国財卓越大学院プログラム

高校生と大学生のための金曜特別講座

広告協賛 (五十音順)

アクティブ・モティブ株式会社

アステラス製薬 株式会社

カールツァイス 株式会社

株式会社 コーセー

先端モデル動物支援プラットフォーム

中外製薬 株式会社株式会社

株式会社 トミー精工

ナカライテスク 株式会社

株式会社 羊土社

ライカ マイクロシステムズ株式会社

理科研株式会社

株式会社 和科盛商会